



Honjo Rotary Club weekly report

Rotary International District 2570 Group 4

No.52-37 第2518回 例会2015年4月23日(木)

卓 話

会長 萩原達夫 会長エレクト 茂木 正
副会長 渋澤健司 佐藤賀則 茂木 聰 幹事 五十嵐敦子
2014~15年度国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン
第2570地区ガバナー 坂本 元彦

進行: SAA 八木茂幸 チーフ

ソング: 我等の生業

会長挨拶

萩原達夫 会長



今日は、今月号のロータリーの友を読んだ所の感想を少し述べたいと思います。

日本の再生 地域の役割と文化芸術の力 前文化庁長官 近藤誠一さんの文章です。文明は進化したが人を思う気持ちが退化し、色々な社会問題が起こっています。その問題を解決する方法の考え方として、日本の伝統的な思想や、文化、文化財にこめられた先人たちのメッセージがあるのでないでしょうか。

近藤さんは色々な観点から、この日本の再生というところをみつめておりました。その中で自然の中で美意識を見出す日本人という箇所で、日本の伝統文化、思想特徴として、三点あげてありました。

一つは自然観、例えば庭のつくりを見ても西洋ではシンメトリー基調にしていますが、日本庭園はあくまでも自然にならうという事。

二つ目は善惡の二元化をしないと日本の先人們は教えています。外国からするとグレーなものを受け入れる許容力は批判されますが、それだと敵か味方かはっきりさせてしまう。惡は叩くそれをやれば、憎悪感を増し、負の連鎖が始まる。相手の良いところを見つけることが日本の良さと述べています。

三つ目は、見えないものの価値、日本人は見え

点鐘: 12:30 萩原達夫 会長

るもの、聞こえるものだけではない価値観を大切に思い、習慣を積み重ねてきたと思います。芸術や文化、音楽、会話でも間というものが大事だといってあります。間というものの大切さは常々かんじております。

日本の文化、思想などの価値観や知恵を思いだし伝える事で、それによって日本人一人一人の良心が、善性が芽生え、今の大きな問題を解決する大きなキッカケになるのではないかとのべております。

ロータリークラブは市民を元気づけ町の持っている魅力を掘り起しそれを発信していく意味で大変な役割をもっていると述べておきました。

幹事報告

五十嵐敦子 幹事



- 1、地区青少年部門「高校生社会体験活動支援委員会より、高校生就業体験の協力要請
- 2、イースタン・リーグ公式戦「埼玉西武ライオズ対読売ジャイアンツ」の案内と招待券が届いています。
- 3、本庄市国際交流協会 インフォメーション149号と平成27年度総会及びランチパーティーの開催案内
- 4、切手シート、官製はがき等の購入のお願いを、本日FAX致します。

卓話 ロータリーの友 編集長 二神典子様



『ロータリーの友』は、1953年に創刊以来、最新情報を届けていますが、それらの記事からは、ロータリーだと日本の移り変わりを知ることができます。各クラブの奉仕活動の記事から、活動したロータリアンの思いを読み取っていただければ幸いです。

ニコニコBOX報告

「ロータリーの友 編集長 二神典子様
ようこそ本庄ロータリークラブへ。
本日の卓話楽しみにしています。」

萩原達夫 五十嵐敦子 八木茂幸 下山正男
渋谷修身 中島高夫 竹並栄一郎 橋本恒男
岡崎正六 矢島淳一 関根 貢 高柳育行
春山茂之

茂木 聰

「二神典子編集長。ようこそ本庄RCへ。
ロータリーの友7月号への原稿、うまく添削して
下さい。宜しくお願ひいたします。」
加藤玄静
「仏教会総会で今日明日と伊豆の為、例会欠席で
す。二神典子編集長、お越し頂きありがとうございます。
今後とも宜しくお願ひいたします。」

出席報告

会員数	出席免除会員数	出席義務会員数	出席会員数	出席率	前回出席率の修正
76名	9名	67名	30名	44%	59%

次回プログラム発表

4月30日(木) 18:30~ 夜間例会 ふじ井

広報雑誌委員会 山田喜一・高橋祐介・小杉公良・笠原 勝・梅村孝雄

■例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
■事務所 埼玉グランドホテル本庄700号
〒367-0041 本庄市駅南2-2-1
TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄
Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>